

令和3年度 MIHO 美学院中等教育学校

入学試験問題

国語

受験上の諸注意^{しよ}

1. 試験監督者の指示があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。^{かんとく}
2. 試験時間は、50分間です。
3. この問題用紙は、13ページあります。ページが足りない場合、印刷が見えにくい場合は、静かに手をあげて監督者に知らせてください。^{かんとく}
4. 解答は、解答用紙の決められた場所に記入してください。
5. 解答用紙・問題用紙の決められた場所に、受験番号を記入してください。
6. 解答用紙にある※印のついている場所には、何も記入しないでください。
7. 解答は黒鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。^{えん}
解答を直す時には、もとの答えを消しゴムできれいに消してください。

受 験 番 号

□一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

問1
—線部①呼春

(句読点も字数に含む。)^{ふく}

問2 —線部②「おぼろげ」と同じような意味の言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おぼれる
イ ぼんやり
ウ さびしい
エ ぼろぼろ

問3 呼春は今何歳こはるぐらいか。さい次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 十歳 さい
イ 二十歳 さい
ウ 二十五歳 さい
エ 三十歳 さい

問4
―線部③「母は最初から、炊飯器ではなく鍋なべを使った炊き方たを教えた」のはなぜか。

次の言葉に続くように、文章中より三十字以内で書き抜きなさい。(句読点をふくむ)

（）できるようにするため。

問5
―線部④「私は何度でも失敗し」たのはなぜか、次から一つ選び、記号で答えなさい。
わたし

ア ご飯は炊^たくだけだが、みそ汁^{しる}は具を切らなければいけないから。

イ ご飯は炊飯器^{すい}を使い電気^ででできるが、みそ汁^{しる}は鍋^{なべ}を使いガスで作るから。

ウ 母の教えるみそ汁^{しる}は、インスタントだしを使^{して}って作るものだったから。

エ 母の教えるみそ汁^{しる}は、インスタントだしを使^わない、煮干^{にぼ}しを使^っただしの取り方だったから。

問 6 — 線部⑤ 「そういう便利な物」とは何を指すか。文章中より八字で書き抜き^ぬきなさい。

問 7 — 線部⑥ 「手先がもたつく」とはどういう意味か、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 手の指がいたいこと。

イ 手の指がもたもたして、置いてきぼりになること。

ウ 手の指が器用でなく、思ったように動かないこと。

エ 手の先で思いがけない出来事が起こること。

問8 なぜ母は、呼春^{こはる}がおみそ汁^{しる}を作れるようにしたのか、次から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 母は自分が死ぬのを理解し、呼春^{こはる}が生活に困^{こま}らないように、自分が死ぬまでに生活の基本を教えておきたかったから。

イ 母は自分が死ぬのを理解し、呼春^{こはる}に家の伝統の味を教え、子孫に伝えていってほしいと思ったから。

ウ 母はインスタントだしを使っていて病気になったので、本当のだしの取り方を呼春^{こはる}には知っておいてほしいと思ったから。

エ 母は自分が死ぬ理由を理解し、便利な現代風の生活ではなく、昔ながらの生活を呼春^{こはる}にしてほしいと願っていたから。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

問 1 (①) に共通してあてはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ したがって ウ 要するに エ しかし

問 2 |線部②「それ」とは何を指すか。文章中から十三字で書き抜きなさい。

問 3 |線部③「正視」の文章中での意味を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 押さえとどめること。 イ 正面からまっすぐに見ること。

ウ 動かないように働きかけること。 エ 注意深くじっと見ること。

問4 ―線部④「矛盾」の文章中での意味を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の都合だけ考えること。 イ あざむくこと。

ウ つじつまが合わないこと。 エ 一貫性にかけていること。

問5 ―線部⑤「手がかり」について、同じような意味を表している別の表現を、文章中から三字で抜き出しなさい。

問6 この文章を二つのまとまりに分けるとき、二つ目のまとまりの最初の五字を書きなさい。

問7 この文章中で述べられている「学ぶためのポイント」について、次から適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 「嫌い」という感覚は、学びにブレーキをかけるので、好きなことだけすればよい。

イ 好き嫌いはひとりよがりな世界を生み出すので、しない方がよい。

ウ 好き嫌いの感覚から距離を置き、どうして好きなのか、どうして嫌いなのか考える。

エ 全体を見るのと同時に、どこか一点ポイントをつかまなければならない。

オ 正解を知ることと、知識を蓄えることが一番大切である。

問8 次の文は、この文章の題名です。()の中に入る言葉を文章中から選び、書きなさい。

「距離^{きょり}を置いて()を見よう」

三 次の―線部の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。

- ① 地震^{しん}の前兆^{しん}。 ② 衛生^{しん}に気^きを配^{くわ}る。 ③ 早起^{しん}きの習慣^{しん}。

- ④ セイ^{しん}ケツ^{しん}な服装^{しん}。 ⑤ 前途^{しん}はケ^{しん}ワ^{しん}しい。 ⑥ その働^{しん}きにム^{しん}ク^{しん}いる。

四 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

- ① 領 ② 性 ③ 術

五 次の漢字の太線部分は何画目に書きますか。漢数字で答えなさい。

- ① 集 ② 無

〔六〕 次の①～③の熟語と同じ組み立ての熟語をア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 往復 ② 曲線 ③ 温暖

ア 存在 イ 発言 ウ 勝負 エ 青空

〔七〕 次の①～③の四字熟語は、どれも一字だけ間違った漢字が使われている。間違っている漢字を指摘し、正しい漢字に

直しなさい。

- ① 一期一得 ② 不言実考 ③ 無我無中

〔八〕 次の①～③の―線部を正しく直すのに最も適当なものをア～カの中から選び、記号で答えなさい。

① 毎年、お盆になると田中さんは贈り物をくれる。

② みなさま、左手を見ると、法隆寺が見えます。

③ 先生が来週の予定を言う。

ア おっしゃる イ さしあげる ウ 拝見する

エ 申し上げる オ ごらんになる カ くださる

九

次の①～③の（ ）に入る言葉を漢字で入れて、下の意味に合うように慣用句やことわざを完成させなさい。

① （ ）を巻く^ま …… ひどく感心する。

② （ ）が痛い^{いた} …… 欠点や弱みを言われ、聞くのがつらい。

③ （ ）が固い …… ひみつを守り、簡単^{かん}には言わない。